

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2017年8月31日(設定日)から2020年7月29日(繰上償還)まで
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<p>① 主として、投資対象ファンドへの投資を通じ、日本債券の運用により安定性を保ちながら、機動的な資産配分比率の見直しにより、より安定的かつ高いリターンの獲得を目指します。</p> <p>② 投資対象ファンドへの配分比率は、以下のとおりとすることを基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の公社債および外国債券を主要投資対象とする投資信託証券への配分比率:70%程度</li> <li>・わが国の公社債、短期金融資産、長期国債先物等および株価指数先物を主要投資対象とする投資信託証券への配分比率:30%程度</li> </ul> <p>③ 上記の投資配分比率には一定の変動許容幅を設け、一定以上かい離れた場合にはリバランスを行います。また、市況動向等の変化に応じて、投資配分比率の見直しを行う場合があります。</p> <p>④ わが国の公社債、短期金融資産、長期国債先物および株価指数先物を主要投資対象とする投資信託証券において、債券および株式の資産配分比率の変更が行われます。</p> <p>⑤ 株式市場の変動率が高まる局面では、基準価額の変動リスクを抑えるため、日本株式への実質的な配分が行われない場合があります。</p> <p>⑥ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>毎決算時(年1回、毎年8月30日。休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配対象額の範囲 経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li> <li>・ 分配対象額についての分配方針 委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</li> <li>・ 留保益の運用方針 収益分配にあらず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li> </ul>

\*「別に定める投資信託証券」とは、円建外国投資信託「ビムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X」および国内投資信託「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」です。

## SBI-PIMCO

### ジャパン・ベターインカム・ バランス・ファンド

愛称 **ベタイン・バランス**

追加型投信／内外／資産複合

## 償還 運用報告書(全体版)

### 繰上償還

償還日:2020年7月29日

作成対象期間:2019年8月31日～2020年7月29日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI-PIMCO ジャパン・ベターインカム・バランス・ファンド(愛称:ベタイン・バランス)」は、2020年7月29日に繰上償還させていただきました。ここに謹んで設定日以降の運用状況及び償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品をご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社

〒106-6015 東京都港区六本木1-6-1

☎ 03-6229-0147

(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)

🌐 <https://www.sbibim.co.jp/>

📄 ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。



## ◀ 設定以来の運用実績 ▶

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		
(設定日) 2017年8月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 196
1期(2018年8月30日)	9,699	0	△ 3.0	97.4	137
2期(2019年8月30日)	9,529	0	△ 1.8	95.0	109
(償還日) 3期(2020年7月29日)	(償還価額) 9,228.41	—	△ 3.2	—	45

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

## ◀ 当期中の基準価額と市況等の推移 ▶

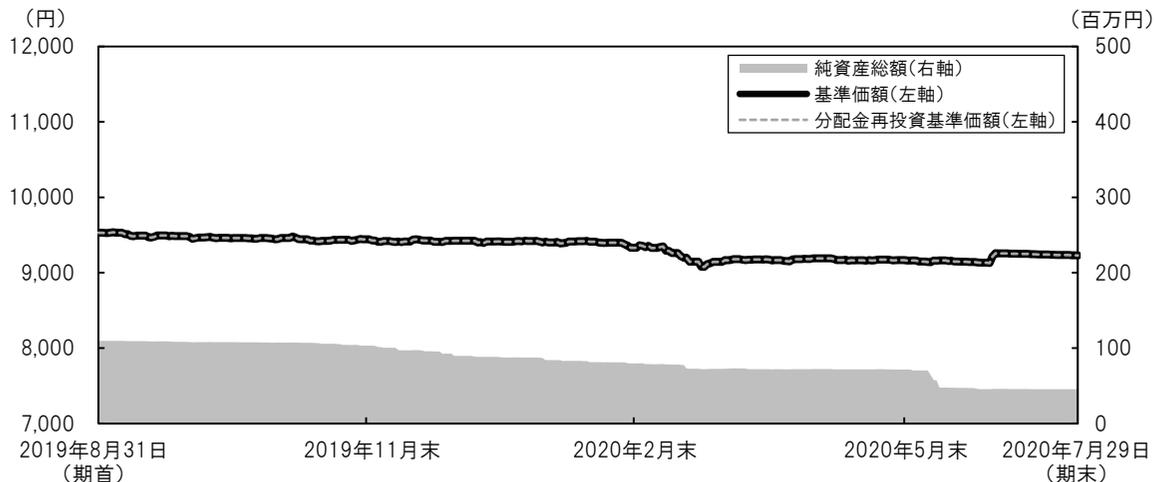
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2019年8月30日	円 9,529	% —	% 95.0
9月末	9,486	△ 0.5	96.0
10月末	9,446	△ 0.9	96.6
11月末	9,444	△ 0.9	90.7
12月末	9,425	△ 1.1	82.1
2020年1月末	9,400	△ 1.4	87.5
2月末	9,330	△ 2.1	91.9
3月末	9,168	△ 3.8	98.9
4月末	9,190	△ 3.6	86.3
5月末	9,167	△ 3.8	86.9
6月末	9,215	△ 3.3	16.1
(償還日) 2020年7月29日	(償還価額) 9,228.41	△ 3.2	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ◀ 基準価額等の推移 ▶ (2019年8月31日～2020年7月29日)



期 首 : 9,529円

期末(償還日) : 9,228円41銭

騰 落 率 :  $\Delta$  3.15%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### ◀ 基準価額の主な変動要因 ▶ (2019年8月31日～2020年7月29日)

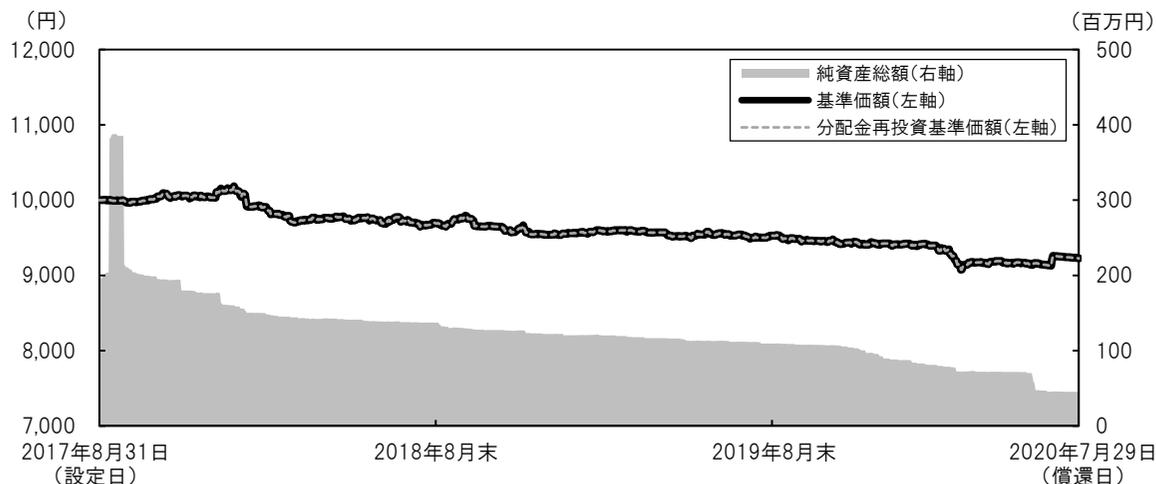
#### 【上昇要因】

日本債券や海外債券の利子収入が積み上がったことが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 【下落要因】

世界各国の債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと、日本株が下落したことおよび信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ◀ 設定来の基準価額等の推移 ▶ (2017年8月31日～2020年7月29日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

## ◀ 基準価額の主な変動要因 ▶

第1期(2017年8月31日～2018年8月30日)

### 【上昇要因】

日本債券や海外債券の利子収入が積み上がったことに加え、日本株式先物の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### 【下落要因】

世界各国の債券利回りが上昇(債券価格は下落)したことや信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第2期(2018年8月31日～2019年8月30日)

### 【上昇要因】

日本債券や海外債券の利子収入が積み上がったことが、基準価額の上昇要因となりました。

### 【下落要因】

世界各国の債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと、日本株が下落したことおよび信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第3期(2019年8月31日～2020年7月29日)

#### 【上昇要因】

日本債券や海外債券の利子収入が積み上がったことが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 【下落要因】

世界各国の債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと、日本株が下落したことおよび信託報酬などの運用上の費用を計上したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

### ◀ 設定来の投資環境 ▶

第1期(2017年8月31日～2018年8月30日)

期の前半は、北朝鮮による弾道ミサイル発射を巡り地政学的リスクが高まる局面があったものの、トランプ政権による税制改革法案の可決や好調な米国の経済指標を受けて日本債券をはじめ世界各国の債券の利回りは上昇(債券価格は下落)しました。日本の株式市場は投資家のリスク回避姿勢が後退したこと等を受けて上昇しました。

期の後半は、日銀の金融政策修正観測報道や日本銀行が長期金利の変動幅拡大を容認したことなどから、日本債券の利回りは上昇(債券価格は下落)しました。米中の貿易摩擦懸念、イタリアの政治情勢を巡る不透明感が高まったことや、トルコリラの急落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから海外債券の利回りは下落(債券価格は上昇)しました。また、日本の株式市場は円安ドル高が進行したこと等から堅調に推移しました。

第2期(2018年8月31日～2019年8月30日)

米中貿易交渉行方の不透明感を背景とした世界景気への不透明感から、日本株式市場は軟調な推移となりました。

一方、債券市場においては、米国が2019年7月末に利下げを実施するなど金融緩和期待が高まったことなどから、日本を含む先進国債券市場は堅調な展開となりました。

第3期(2019年8月31日～2020年7月29日)

新型コロナウイルスが世界景気へ及ぼす影響を懸念し、日本株式市場は一時大幅に下落しましたが、各国中央銀行による積極的な金融緩和と財政政策への期待から、その後は回復する展開となりました。

債券市場においては、株式市場の下落を受けて、日本を含む先進国の国債利回りは急低下しました。

≪ 当ファンドのポートフォリオ ≫ (2019年8月31日～2020年7月29日)

＜ 当ファンド ＞

「ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X」への投資を通じて、日本債券および海外債券に分散投資を行います。また、「SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて市場変動リスクが少ないと判断される局面で日本株式市場へ資産配分を行います。両ファンドへの投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X ＞

日本債券および海外債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

＜ SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用) ＞

市場変動リスクが少ないと判断される局面において日本株式市場への投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

≪ 当ファンドのベンチマークとの差異 ≫ (2019年8月31日～2020年7月29日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

≪ 1万口当たりの費用明細 ≫ (2019年8月31日～2020年7月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	45	0.48	(a) 信託報酬＝ 期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	( 31)	(0.33)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	( 12)	(0.13)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	( 2)	(0.02)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	140	1.50	(b) その他費用＝ 期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	( 37)	(0.40)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷 費 用）	(103)	(1.10)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	185	1.98	
期中の平均基準価額は、9,327円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

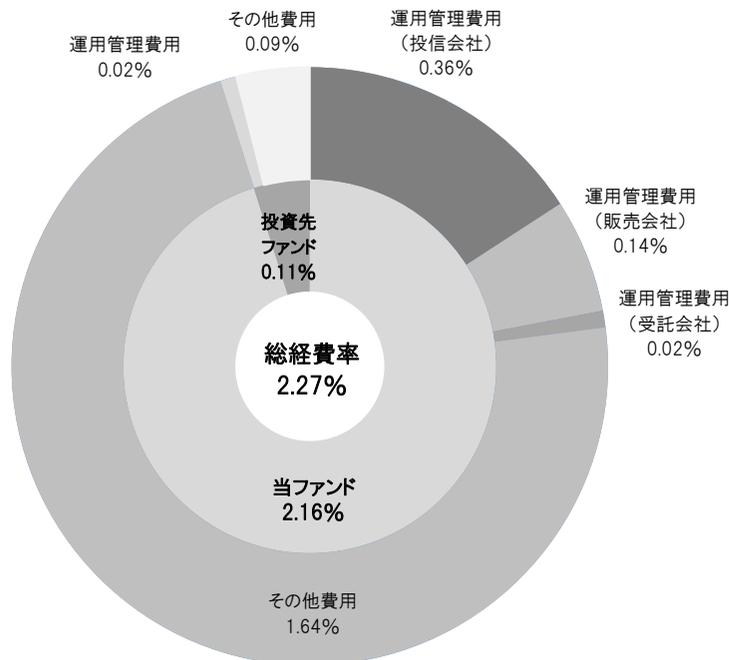
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.27%です。



(単位:%)

総経費率(①+②)	2.27
①当ファンドの費用の比率	2.16
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.11

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

### ◀ 売買及び取引の状況 ▶ (2019年8月31日～2020年7月29日)

#### 投資信託証券

銘柄		買付額		売付額	
		口数	金額	口数	金額
国内	ピムコ・ケイマン・ジャパン・コアプラス・ストラテジー・セグリゲイテッド・ポートフォリオ クラス X	千口	千円	千口	千円
		—	—	6,408	65,243
	SBIアロケーションファンド(適格機関投資家専用)	—	—	41,289.25	37,357

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ◀ 利害関係人との取引状況等 ▶ (2019年8月31日～2020年7月29日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ◀ 組入資産の明細 ▶ (2020年7月29日現在)

償還日現在、有価証券等の組入れはありません。

### ◀ 投資信託財産の構成 ▶ (2020年7月29日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 45,998	% 100.0
投資信託財産総額	45,998	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## ◀ 特定資産の価格等の調査 ▶

該当事項はありません。

## ◀ 資産、負債、元本及び償還価額の状況 ▶

(2020年7月29日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	45,998,594
コール・ローン等	45,998,594
(B) 負債	612,348
未払信託報酬	140,964
未払利息	12
その他未払費用	471,372
(C) 純資産総額(A-B)	45,386,246
元本	49,180,997
償還差損益金	△ 3,794,751
(D) 受益権総口数	49,180,997口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,228円41銭

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	114,921,818円
期中追加設定元本額	1,775,483円
期中一部解約元本額	67,516,304円

## ◀ 損益の状況 ▶

(2019年8月31日～2020年7月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,003
支払利息	△ 1,003
(B) 有価証券売買損益	191,912
売買益	1,105,427
売買損	△ 913,515
(C) 信託報酬等	△ 1,648,153
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,457,244
(E) 前期繰越損益金	△ 2,195,969
(F) 追加信託差損益金	△ 141,538
(配当等相当額)	(△ 469)
(売買損益相当額)	(△ 141,069)
(G) 合計(D+E+F)	△ 3,794,751
(H) 収益分配金	0
償還差損益金(G)	△ 3,794,751

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### ◀ 投資信託財産運用総括表 ▶

信託期間	投資信託契約締結日	2017年8月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年7月29日		資産総額	45,998,594円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	612,348円
受益権口数	196,433,662口	49,180,997口	△147,252,665口	純資産総額	45,386,246円
				受益権口数	49,180,997口
元本額	196,433,662円	49,180,997円	△147,252,665円	1万口当たり償還金	9,228.41円

#### 毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たりの分配金	
				金額	分配率
第1期	141,615,889円	137,357,581円	9,699円	－円	－%
第2期	114,921,818	109,505,428	9,529	－	－
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				△771.59円	△2.65%

### ◀ 償還金のお知らせ ▶

1万口当たり償還金(税込み)	9,228円41銭
----------------	-----------